

## 重症病態における栄養療法の基礎および臨床研究

重症病態における栄養療法は、刻々と変化する病態を把握し、的確な栄養評価とプランを立てる必要がある。一般的に慢性期疾患の患者ではほぼ確立されているエネルギーやタンパク質の必要量についても重症患者では明確な指標がなく、また明らかなエビデンスがないのも現状である。本研究では、重症病態における栄養療法について、栄養剤の評価、三大栄養素はじめ各栄養素の必要量と意義について、動物実験による基礎的研究、ICU患者における臨床的研究より行った。

### 基礎的研究

- ① 盲腸穿孔（CLP）敗血症モデルマウスの作製方法の確立
- ② ホエーペプチドの敗血症モデルマウスにおける有効性の検討
- ③ BCAA が敗血症モデルマウスにおいてタンパク異化を抑制するメカニズムの解明

### 臨床的研究

- ① 重症患者におけるエネルギー必要量の検討：間接カロリメトリーを用いて。
- ② 重症患者におけるタンパク質必要量の検討：タンパク異化の観点から。
- ③ 重症患者におけるホエーペプチドをベースとした栄養剤の有効性評価